

造影CT検査(コンピューター断層撮影)の説明と同意書

患者氏名

生年月日

説明医師

殿

私は、下記の説明を受け十分に理解しましたので、これから行われる検査を受けることを同意します。

年 月 日

患者様自署(捺印)

代諾者署名(捺印)※

患者様との続柄

(※ 患者様が署名されたときは不要です。)

【造影CT検査の説明】

検査当日、CT検査の際に造影剤(ヨード造影剤)という検査薬を使用する予定です。造影剤を静脈から注射することにより血管や病巣が明確に描出され、より正確な診断が可能になります。

造影剤は、基本的には安全な薬剤と言われていますが、一定の頻度で次のような副作用が生じることが知られています。造影剤の使用に同意いただけない場合でも、造影剤を使用しないCT検査で可能な限り正確な診断ができるように検査を施行します。なお、腎機能障害、甲状腺機能亢進症、多発性骨髄腫やアレルギーをお持ちの方と、以前に造影検査で副作用が発現した方は、原則として造影剤を使用しません。また、糖尿病のお薬を内服中の方はお申し出ください。

【造影剤(ヨード造影剤)の副作用】

①軽い副作用 : かゆみ、発疹、発赤、悪心、吐き気など

これらの副作用は3%程度の頻度で起こりますが、通常は特に治療を必要とせず、すぐにおさまります

②重い副作用 : 血圧低下(ショック症状)、息苦しさ、意識消失、腎不全、咽頭浮腫など

これらの副作用は0.04%程度の頻度とわずかですが、治療が必要となりさらに有害となる可能性もあります。当院では各診療科の緊急支援体制のもと速やかな対応が可能な体制で検査をおこなっています。ごく稀に(0.001%程度)副作用による死亡例の報告もあります。

③遅発性副作用 : 頭痛、吐き気、かゆみ、発疹など

ごくまれに検査後数時間から数日して発生することがあります、その際は検査医または主治医にお知らせください。救急外来を受診することも可能です。

造影剤副作用以外にも、造影剤を静脈に注射する際に血管外に漏れることが0.3%程度の頻度で起こり、注射した部位の腫れや痛みをとまることがあります。通常は時間の経過とともに自然に吸収されるので心配はありません。漏れた量が多い時は、処置が必要になることもあります。

造影検査を安全に行うため、担当職員が以下を確認させていただきます。

【検査前チェック項目】

ヨード造影剤副作用歴 有 無 クレアチニン値(採血日) 0.72 mg/dl (26 年 2 月 20 日)

重篤な甲状腺疾患 有 無 ビグアナイド系経口血糖降下薬内服 有 無
(メドット、メトグルコ等)

気管支喘息 有 無

重篤な心障害 有 無

確認者サイン

【当日確認項目】 最終食事の時間(月 日 時)